1. 北海道

天売島における飼い主のいない猫対策

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
（北海道環境生活部生物多様性保全課　尾崎　伸雄）

天売島

- 北海道北西部の日本海に浮かぶ周囲12kmの小島、人口約330人
- ウミガラスなど絶滅危惧種を含む約100万羽の海鳥の繁殖地

- 近年、島内で飼い主のいない猫（野良猫）が増加

野良猫の増加による影響

- **海鳥への影響**

海鳥の補食により、繁殖数減少の一要因となっている。

- **住民生活への影響**

住居侵入や畑を荒らすなど

- **猫自身への影響**

冬の厳しい環境、交通事故など

＜参考＞天売島ネコ飼養条例（2012年）

（目的）
- 猫の健康と安全の保持
- 海鳥繁殖地の保護
- 住民の生活環境の保護

（概要）
- 飼い猫の登録制
- 不妊去勢手術の実施（室外飼養の場合）
- みだりな餌やりの禁止　など

野良猫対策の実施主体

団体名：**「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会**

目　的：天売島の生態系を維持するため、殺処分することなく飼い主のいない猫をなくし、人と海鳥と猫の共生を目指すこと。

設　立：平成26年12月

構成団体：羽幌町役場 / 北海道 / 環境省 / 北海道獣医師会 / 留萌獣医師会/ 北海DOぶつネット（動物愛護団体のネットワーク）

➡ 「天売猫方式」による野良猫対策

天売猫方式による野良猫対策

①捕獲作業　環境省（島内の団体）
↓
②搬送　羽幌町/動物愛護団体（猫のリレー搬送）
↓
③医療行為　北海道獣医師会

↓
④馴化（じゅんか）作業

馴化施設
・北海道海鳥センター
・動物愛護団体　など

預かりボランティア
・一般市民、大学、動物園、他の動物愛護団体など
→動物愛護団体のサポート

↓
⑤譲渡会など　動物愛護団体メイン
↓
⑥飼い主への譲渡

（取り組みの結果）

- 今までに130匹を島外搬出
  （現在、島内の野良猫は１０匹程度と推定）
- そのうち、約１１０匹を飼い主に譲渡済み

（取り組みの成果）

- 市街地近くでウミネコの1,000羽以上の新たなコロニーの確認
- 市街地での野良猫による住民生活への被害減少
- 譲渡された天売猫が、飼い主の下で幸せに暮らす
- 天売猫をきっかけに天売島に関心を持つ人が増える

1. 北海道

島民との意見交換と情報提供

天売猫の取組の方向性、ドブネズミ問題、野良猫問題の再発防止のために、島民との継続的な意見交換と情報提供を実施

○「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡会の設置
（島民×天売猫協議会）

○天売猫だよりの定期的な発行
天売猫の取組、猫の繁殖力、ドブネズミ問題、今後の取組などをわかりやすく紹介。

天売猫のきっかけとした天売の観光振興との連動

○天売猫ツアーの実施

天売猫の取組をきっかけに天売島に関心をもってもらうツアー。
→猫好き×鳥好き×アウトドア好きの連携

○天売猫ふるさと旅行券の配布

天売猫の飼い主・預かりボランティアになってくれた人に天売島の往復チケット（天売猫ふるさと旅行券）を配布。

「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」
モデル事業での実施内容（H26～29年度）①

○譲渡会の啓発チラシ/ポスターの作成、実施

○天売猫の取組のWebページ作成と映像素材（PV）の作成

○預かりボランティア募集チラシ、天売猫手帳の作成など

「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」
モデル事業での実施内容（H26～29年度）②

○「天売猫まつり」の実施

島民に天売猫の取組や天売猫のその後、飼い猫の適正飼養などについて知ってもらうため、協議会と島民の距離を縮めるために「天売猫まつり」を実施。猫の譲渡会や獣医師による飼い猫・犬の健康診断、猫のお話し会、出店などを行い多くの島民の参加があった。

「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」
モデル事業での実施内容（H26～29年度）③

○しあわせ天売猫ハンドブックの作成

島民を対象に、猫の生理・習性や適正な飼育方法について知ってもらうことを目的にハンドブックを作成。

○天売猫ミーティングの実施

天売猫の取組に関わる関係者が、取組について一般市民などに報告する「天売猫ミーティング」を開催。

「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」
モデル事業での実施内容（H26～29年度）④

○シェルターメディスン講習会の実施

○猫の健康飼育ハンドブックの作成

天売島の野良猫対策のみではなく、天売猫の取組をきっかけに構築された協働体制（行政、獣医師会、動物愛護団体などの連携）を活用し、北海道全体の保護猫・飼い猫の適正飼養の推進に取り組んでいる。

天売猫の今後の取組

○島内の野良猫の状況を定期的にモニタリングしながら、継続的な捕獲作業を行う。また、海鳥の状況について定期的なモニタリングを行う。

○野良猫問題の再発防止、島内の飼い猫の適正飼養促進のため、定期的に獣医師や動物愛護団体が島を訪れ、飼い猫の健康診断や診察、適性飼養についての講習会などを実施できる体制をつくる。

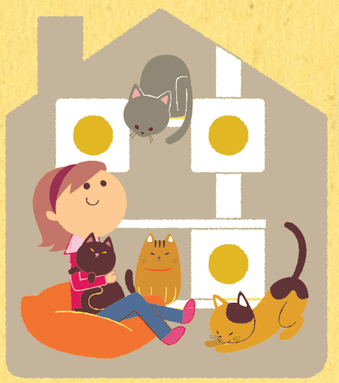
○島内で新たに猫を飼いたい人のために、譲渡会を実施したり、保健所の収容猫を紹介するなど、適正飼養を前提に島内で猫を飼える機会を設ける。

○天売猫の取組をきっかけにして、島を訪れる人を増やすなど、島の地域振興につながる取組を行う。

○天売猫の取組で構築した行政と民間との協働体制を基に、北海道内の他地域における野良猫対策など動物愛護管理施策の推進につなげる。

Interview

私も天売猫を飼っています！



ゴメちゃん（白老町）

我が家に来た時から、すぐに懐いてくれて安心できました。初めの頃は毎日夜中に遠吠えのように鳴いて困りましたが、しばらくして治まり、ほとんど鳴くことはなくなりました。いまではすっかり家族の一員で、名前を呼べばどこにいてもすぐに駆け寄ってきます。
天売島生まれのためか、魚が大好物です。刺身や焼魚を見つけたときだけは、ものすごく鳴いて欲しがります。いつか、ゴメちゃんを連れて、ふるさとの天売島を見せてあげたいなと、思っています。

もっちーちゃん（札幌市）

もっちーが家に来て1年以上がたちました。最初はエサを食べず心配しましたが最近はお気に入りのエサが見つかり、何とか食べてくれています。
本当に甘えん坊で、主人がトイレに行くとジッと前で待っていたり姿が見えないと家中を探し回るなどベッタリです（笑）
お気に入りの場所は出窓のところで、外を通行する人を見ながらのんびり日光浴しています。
今度の夏には、もっちーのふるさとの天売島に行ってみたいと思います。

天売島ネコ飼養条例について

［平成24年3月12日（条例第12号）］

人・海鳥・猫みんなが住みやすい島にするために、平成24年に「天売島ネコ飼養条例」ができました。
ネコを飼う場合は、登録してマイクロチップを入れること、できる限り屋内で飼い、やむを得ず屋外で飼う場合には不妊去勢すること、などが定められています。このような条例ができたのは北海道では天売島が初めてです。この条例に基づき、現在天売島では38匹の飼い猫が登録されています。

条例の主な内容

- 飼主は愛情を持って猫を飼うこと
- 猫を飼う場合は登録し、マイクロチップを入れること
- 猫の健康と安全のため、できるだけ屋内で飼うこと
- やむを得ず屋外で飼う場合は不妊去勢をすること
- ノラ猫にみだりな餌やりをしないこと

動物の愛護及び管理に関する法律

愛護動物をみだりに殺したり傷つけた者
2年以下の懲役または200万円以下の罰金

愛護動物に対し、みだりに餌や水を与えずに衰弱させるなど虐待を行った者
100万円以下の罰金

愛護動物を遺棄した者
100万円以下の罰金

しあわせ天売猫ハンドブック
発行／「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
（構成団体）
羽幌町役場 町民課
北海道 環境生活部環境局 生物多様性保全課
環境省 羽幌自然保護官事務所
公益社団法人 北海道獣医師会
北海DOぶつnet

しあわせ天売猫ハンドブック

［猫の飼い方ガイド］

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会では、
ノラネコ対策を通じて
「人と海鳥と猫が共生する天売島」を目指しています。
このハンドブックは、島で天売猫を飼っている方などに
猫の特徴や最適な環境・病気のことなどを
知ってもらうために作成しました。
ぜひ手元に置いていただき、参考にしてください。

ナビゲーター **PR猫のテンちゃん**（♂推定11歳）

2013年の春に天売島で保護され、帯広市の動物病院で馴化されたのち、羽幌町の海鳥センターにやって来ました。訪れる人びとを魅了する愛嬌あふれる性格や仕草から、センターのPR猫に大抜擢され、天売猫の取組みの啓発のために活躍中です（基本は寝てばかりですが…）。
トレードマークは、ブニブニとしたかわいいお腹です。

発行／「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
平成29年3月発行

猫ってこんな動物です

身近な愛玩動物として親しまれている猫ですが、その特徴は一言では説明できないほど。ここではその身体能力や習性、成長などをご紹介します。

知能

猫の知能は、1歳半から2歳ほどの人間の赤ちゃんと同じくらいと考えられています。単独行動を行うため、他の動物よりも場所の記憶力に優れているといわれています。引き出しや冷蔵庫を勝手に開けたりするのは、その場所に食べものがあることを覚えているからなのです。

耳

猫の聴覚は犬の2倍以上といわれています。耳の奥にある三半規管が優れているため、高い所から落ちても無事に着地することができます。

ヒゲ

ヒゲは猫にとって大事なアンテナ。根元にたくさんの神経が集中していて、空気の流れを感知することができるため、暗がりを歩いたり、狭い場所もヒゲが通るようなら体も通ると判断しています。

身体能力

猫はトラやライオンと同じネコ科で瞬発力、ジャンプ力、走力など、狩りに必要な優れた能力を生まれながらに持っています。ジャンプ力は身長の5倍、走る速度は時速48kmといわれていますが、長距離は得意ではありません。獲物にそっと忍び寄るための柔軟性もあり、骨や筋肉がやわらかく、全身はバネのようにしなやかです。

習性

猫の語源は「寝子」。1日約14～18時間を寝て過ごしています。元々肉食動物で、狩りをする以外は体力温存のために寝て過ごす習性があるため、高い所や狭い場所を好み、昼間は寝ていることが多く、活発に動くのは主に明け方や夕方です。また、飼い主にスリスリする行為は、自分のニオイをつけて安心感を得ているためです。

成長と寿命

猫は産まれて1ヶ月で人間の1歳に相当し、1年半で人間の成人くらいに成長します。寿命は家で飼われている猫の場合、平均で16歳くらいといわれていますが、最近はペットフードの進化もあり20歳を越える長寿猫も多くいるようです。一方、過酷な状況で暮らしている野良猫の場合はだいたい4～5歳ほどでその猫生を終えるといわれています。

Column

Q 天売猫の特徴って？

A 全ての猫ではありませんがいくつかの共通点があるといわれています

天売猫に関わる方の意見を集約すると、天売島の猫は、全体的に顔や体が丸く、日本の和猫のようにしっぽが短い子が多いようです。また、性格的には純粋で、猫同士のコミュニケーションがとても上手といわれています。天売島の大自然の中でのびのびと育ったからかもしれませんね。

猫にとって最適な環境とは

「犬は人につき、猫は家につく」とも言われているように、猫は室内で過ごすことが病気にかかるリスクも低く、最適な環境です。

室内飼育

猫は室内飼いが最も適した動物です。
屋外は交通事故や猫エイズなどの感染症にかかる恐れがあるほか、冬は凍傷になったり最悪の場合は凍死する危険もあります。

毎日の給餌

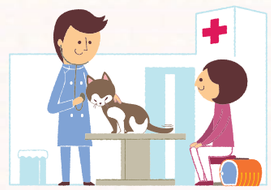
猫の年齢や体重も考え、1日2～3回、適切な量を与えましょう。また不妊去勢した猫は太りやすいため、健康に配慮した専用フードがおすすめです。塩分の高いものやネギ類、チョコレート類は厳禁。例えば玉ねぎの入ったお味噌汁などは与えないようにしてください。

清潔なトイレで健康チェック

猫はとてもキレイ好きな動物。汚れたトイレだと別の場所で粗相をする場合があるため、砂はマメに取り替えましょう。
おしっこの回数（何度もトイレに行くのに出ていない場合は膀胱結石などが考えられます）や、ウンチの状態（下痢や便秘など）はできるだけチェックしましょう。

爪とぎは随所に

猫のストレス解消に爪とぎは必須です。家の中に爪とぎ器がないと、柱やカーペットなどをボロボロにする恐れがあります。猫が好みそうな場所何ヶ所かに爪とぎ器を設置してあげてください。また、外に出ない猫であれば、定期的に専用の爪切りで先端の鋭い部分を切ることをおすすめします。



不妊去勢手術

猫は生後6～9ヶ月で初めての発情期を迎え、繁殖率も高く、妊娠して2ヶ月で出産するため、できるだけ早いうちに不妊去勢手術をすることをおすすめします。
不妊去勢により、性格が穏やかになったり、発情期の鳴き声の抑制、オス猫の場合は壁などへのマーキング（尿スプレー）を防いだり、オス特有の尿の臭いもなくなります。

Column

Q 猫ってどうしたら人に馴れるのかな？

A 猫とのコミュニケーションはあせらず、ゆっくりと。

大きな声や物音に敏感な猫にはゆっくり優しく接しましょう。毎日の給餌など、お世話をすることで親しくなる例が多いようです。馴れてくると喉をゴロゴロしたり、甘えてくるようになります。抱っこが苦手な猫もいます。無理をして引っかかれたりしないよう、様子を見ながら接するようにしましょう。

Column

Q 猫のおもちゃはどんなものがいいの？

A 高価なものは必要ありませんが長い毛などでできたおもちゃは誤食に注意。

猫は好奇心旺盛な動物です。特に紙や袋などが大好きで、かじったり爪でボロボロにしたりすることも。ただ、何でも飲み込んで最悪の場合は死に至ることもあるため、長い毛のおもちゃやヒモ、輪ゴム、ビニール片などは遊んだ後はすぐ片付けるようにしてください。

症状から考えられる猫の病気

猫がかかりやすい病気がいくつかあります。ここでは、比較的多く見られる症状から考えられる病気をご紹介します。気になることがあれば動物病院に相談することをおすすめします。

嘔吐

猫の嘔吐は珍しいものではありません。嘔吐後も食欲があれば大丈夫ですが、1週間に1回以上続く場合は慢性の胃腸の病気が隠れており、食べているようでも痩せてくることが多いです。
また、1日に何度も嘔吐する場合は、腸閉塞や急性腎不全の場合が多く、数日で亡くなってしまうケースもありますので、急いで動物病院を受診しましょう。腸閉塞の原因は毛玉や誤って飲み込んでしまった紐やおもちゃなどが多いです。

下痢

すぐに治る下痢は大丈夫ですが、軟便が続いたり、血が混ざる場合には大きな病気が潜んでいる場合があります。できるだけ早めに動物病院へ連れて行きましょう。

便秘

猫は毎日排便をします。何日も便が出なく、トイレにいって力んでいるのに便が出ない、力んで吐いてしまう場合などは便秘です。放置すると死に至りますので動物病院の受診をおすすめします。

お水を飲む量が増えたら

猫は年をとると腎臓病になる確率が高くなります。また太った猫には糖尿病が多く認められます。もともと猫の水を飲む量は少ないのですが、水飲み場でずっと水を飲んでいる場合や、明らかに飲み水の量が増えた場合（体重1kgあたり60cc以上）は、腎臓病や糖尿病になっている可能性が高いです。
飲み水を与える場合は、毎日どれくらい減っているかをチェックして健康管理を行いましょう。

尿の出具合に異常が見られたら

尿の出具合は健康の大切なバロメーター。何度もトイレに行っているのに尿が出ていない、尿に血が混じっている場合は膀胱炎が疑われます。
また、尿道が細いオスは膀胱結石が尿道につまりやすいといわれています。その場合、トイレで踏ん張って叫んだり、その後ペニスを舐めることが頻繁になり、放置すると尿毒症になり数日で死亡します。
これらの病気は猫の体質と低品質のキャットフードが原因です。できるだけ高品質で、尿路結石などの予防効果のあるキャットフードを選んでください。
動物病院では結石予防効果の高いキャットフードをご紹介できますのでご相談ください。

できるだけワクチン接種を受けましょう

上記の病気の他にウイルスによる感染症があるため、飼い猫はできるだけ毎年ワクチン接種を行いましょう。
猫ウイルス性鼻気管支炎（猫風邪）などが予防できる3種混合ワクチンと、猫白血病ウイルス感染症などに効果がある5種混合ワクチンの2種類があります。

留萌市内の動物病院

受診や手術など電話に出られない場合がありますのでご了承ください。

はしばトントン動物病院
留萌市宮園町1-1-24
TEL 0164(43)5621

留萌ペットクリニック
留萌市旭町1-4-31
TEL 0164(43)7334

るもい南町動物病院
留萌市南町2-175
TEL 0164(42)4208

今後、協議会では、**獣医さんが定期的に島を訪問し、飼い猫（犬も含む）の健康診断や簡易的な診療などを行ってもらう**予定です。日程などはその都度お知らせしますので、是非ご利用ください。

猫の感染症に注意！

最近、島で捕獲したノラネコに猫エイズや猫白血病といった感染症が多く確認されるようになりました。
これらの病気は発症しない場合もありますが、免疫力低下もあるため、感染しないようにすることが必要です。
猫同士のケンカによる感染も非常に多いため、外飼いの猫は特にご注意ください。

猫エイズ（猫免疫不全ウイルス感染症／FIV）

猫エイズはウイルスの感染によって引き起こされる、免疫機能の低下が特徴の病気です。
一度感染すると完治せず、有効な治療もありません。

感染経路

猫エイズに感染している猫との喧嘩時に噛まれることで唾液から感染します。また、親猫が感染していると子猫にも移ることがあります。
空気感染をすることはありません。

主な症状

口内炎になり抜歯した猫

ほぼ無症状で過ごせる場合もありますが、口内炎や歯肉炎を起こしやすく、よだれや食欲低下がみられます。また傷が化膿しやすく、慢性下痢や発熱を呈しやすくなる場合もあります。健康猫と比べると寿命は短くなる場合が多いです。
ちょっとした病気も治りずらいために早めに治療するようにしてあげると良いでしょう。

猫白血病ウイルス感染症（FeLV）

感染すると白血病、腫瘍、貧血や免疫力の低下、腎臓病、流産などいろいろな病気の原因になりますが、予防できるワクチンがあります。室内などで他に猫白血病ウイルス陽性の猫がいる場合には、感染していない猫にこのワクチンを接種しておくのが良いでしょう。

感染経路

猫白血病ウイルスは感染猫の唾液にウイルスが含まれており、猫同士のケンカや舐め合ったりすることで感染しますので、室内飼育を徹底させましょう。
食器から感染する場合もありますので、感染猫とは部屋を分けるなどして飼うことが望ましいです。

主な症状

4ヶ月以上の持続感染で発病した場合には3～4年以内に死亡しますが、多くは短期間の感染で終わり、健康に過ごせる場合も多くあります。
ただ、ウイルスが感染した猫は妊娠すると発症しやすくなることが知られていますし、生まれてきた子猫にもウイルスが感染しますので、不妊去勢手術をしておきましょう。

感染した場合と予防策

飼い猫が感染してしまったら

①完全室内飼いを心がけましょう
猫を外に出すとさらに感染が拡大します。特に発情期に外に出たがる猫が多いことから不妊去勢をして、外に出さないように飼うべきです。

②他にも飼い猫がいる場合は
感染していない猫とは別の部屋（もしくはケージで隔離）で生活させます。
食器・トイレなどは専用の物を用意し、世話をする際にはこまめに手を洗いましょう。

予防方法

感染している猫を外に出すことは他の猫にウイルスを移す機会を増やし、地域の猫全体にこのウイルス感染が蔓延する結果となりますので、猫を室外に出すのは止めましょう。
いずれの感染症も猫から人に移ることはありません。※猫エイズは人のエイズとは別の病気です。

屋外は猫にとって危険がいっぱい！

飼い猫を外に出している飼い主は、これらの危険にさらしていることを忘れてはいけません。
飼い猫がこれらの危険に遭遇した場合には、命を落としてしまうかもしれません。

冬の寒さ
- 凍傷などで耳が欠けてしまう
- 凍死　など

予期せぬ繁殖
- 望まない子猫が生まれる

感染症のおそれ
- 猫エイズ（猫免疫不全ウイルス感染症）
- 猫白血病ウイルス感染症
- 猫伝染性腹膜炎

など

近所からの苦情
- 糞・尿被害
- 花壇やゴミを荒らす
- 鳴き声
- 爪で車が傷つけられるなど

ケンカ
- 縄張り争い
- メスをめぐる争い

など

迷子
- 大きな音等でパニックになる
- 病気やケガで動けなくなる
- 繁殖相手を探し放浪する

交通事故
- 車と衝突する
- 車の隙間に入り込む

など

やむを得ず外に出すときは…

やむなく猫を外に出すときは、下記のことに気をつけましょう。
ただし、特に活動が盛んになる夜間や、冬の間はできるだけ室内で過ごさせてください。

飼い猫の印として首輪をつけよう

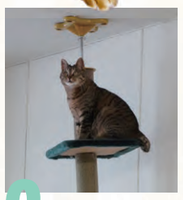
猫の名前や飼い主の名前、連絡先などを書いた首輪をつけましょう。動物病院への移動中や、ふいの来客、大きな音など、思いがけないきっかけで猫が外に出て迷子になることがあります。室内で飼っていても、突然の災害や脱走に備え、日頃から身元表示をしておくことが必要です。
引っかかり予防のため、首輪は力が加わると外れるタイプがおすすめです。

自動車事故に注意を!

ノラネコの死因で多いといわれているのが交通事故です。ふいに道路を横切るため、運転の際は注意が必要です。猫は夜行性のため、夜に外に出すことは非常に危険です。また、寒くなりはじめると、暖をとるため車のボンネットに入り、ベルト部分に巻き込まれ命を落とす猫もいます。運転前に、車のボンネットを軽くバンバンたたき、中に猫がいないことを確認し、ついでに車の下も確かめましょう。

猫についてのあれこれQ&A

私たちの暮らしに身近な猫ですが、いざ飼ってみるとわからないことは意外に多いものです。
ここでは、そんな疑問をQ&A形式でご紹介します。



Q 猫を外に出さないと運動不足になる?

A 室内でも充分運動はできます。

室内での上下運動や、おもちゃなどで遊ぶことで十分な運動になります。猫は高いところや、立体的な移動を好むため、家具やダンボール箱、市販のキャットタワーなどで上下運動ができる場所を作りましょう。また、飼い主とのコミュニケーションや遊びの時間も大切で、ストレスの解消にもなります。

Q ウンチやお尻から何か出てきたけど?

A 寄生虫の可能性があります。

ウンチやお尻から、輪ゴムや米粒のようなものが出てくることがありますが、これらはネズミなどを捕食したことで感染した寄生虫です。子猫の場合は元気がなくなり下痢や便秘になることがありますが、成猫は症状があまり出ない場合が多いようです。動物病院に駆虫薬があるので相談してみましょう。

Q 家の中だと尿の臭いが気になるのでは?

A こまめな掃除で大丈夫!

トイレはまめに便や尿を取り除くようにしましょう。また壁や畳についた時はお湯、クエン酸を水で薄めたもの、消毒用アルコールで拭けばだいたいの臭いはとれます。なお、不妊去勢をすると、オス特有の尿の臭いはなくなります。

Q 野良猫は人にはなつかないのでは?

A 時間はかかりますが、なつきます。

猫の性格にもよりますが、子猫の場合は早い期間で人になつく傾向があります。比べて成猫はごはんやおやつを通じて少しずつ距離を縮めていくことをおすすめします。大きな声を出したり、走って近づくと警戒されるので、ゆっくり少しずつコミュニケーションを図ってみてください。

Q 家に閉じ込めたまま外泊してもいいの?

A 1日くらいは大丈夫です。

ごはんと飲み水を多めに用意しておけば、一泊程度の外泊は可能。ただトイレは予備のものをもう一つ用意しておくようにしましょう。真冬の場合は毛布など、猫が暖かく眠れる場所の確保も必要です。二泊以上の旅行に行くときは、信頼できる知人の方などに定期的に見てもらえるよう相談を。

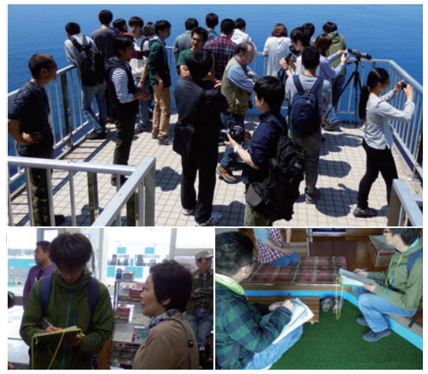
Column

Q 猫は何匹まで飼うのが理想的？

A 1人が面倒をみられる頭数には限界があります

猫同士の相性にもよりますが、常識的に考えて1人の人間が面倒を見られる猫の頭数は、体力的・経済的に考えても、多くて3匹くらいが理想です。特に高齢者が「寂しいから」という理由で生まれたばかりの子猫を数匹飼ったりすることは、社会的に問題になっている「多頭飼育崩壊（たとうしいくほうかい）」の原因となり、結果的には不幸な猫を増やすことになるため、注意が必要です。

調査へのご協力ありがとうございました！



天売猫の取り組みに関する皆さんのお考えを伺うため、北海道大学と酪農学園大学の協力で、6月22日～24日に聞き取り調査を実施しました。
皆さんのご協力により、約130世帯から回答をいただくことができました。集計結果は今後公表いたします。
いただいた意見は今後の取り組みの参考にさせていただきます。

ウニ選別

ウニの選別作業や網外しなど、貴重な体験もさせていただきました。関係者の皆さん、ありがとうございました。

［インタビュー］

羽幌町観光協会 天売支部長／佐賀 大一氏

観光協会の支部長という立場で、天売猫の取り組みに関わっています。メディアでもよく取り上げてもらったこともあり、ここ1～2年は天売猫をきっかけに、今までとは違う層の方々が島を訪れることが多くなったなという印象があります。
譲渡された猫はみな飼い主さんの元で幸せに暮らしているということを伺い、とても嬉しく思っています。天売猫は街の猫と違い、純粋でおだやかで飼いやすいとも聞きました。
「人と海鳥と猫が共生する天売島」というすばらしいテーマに向かって、継続的に取り組むべき活動だと思っています。

天売島のネコ問題 facebook
http://www.teuri-neko.net
https://www.facebook.com/teuri.neko

【編集後記】
天売島のノラネコ対策を紹介する「天売猫だより」を作成しました。今年は４号発行の予定です。全号を通してご覧いただくと、取り組みの全体像がわかります。天売島の方々が登場する機会も考えていますので、ぜひお手元に置いておいてください。9月にはドブネズミ対策の説明会も開催します。お楽しみに！
（羽幌町役場　町民課環境衛生係　小笠原悠太）

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
構成団体：
羽幌町役場 町民課
北海道 環境生活部環境局生物多様性保全課
環境省 羽幌自然保護官事務所
公益社団法人 北海道獣医師会
北海DOぶつnet
協力／環境省北海道環境パートナーシップオフィス

天売猫だより

第1号
発　行／「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
発行日／平成28年8月25日

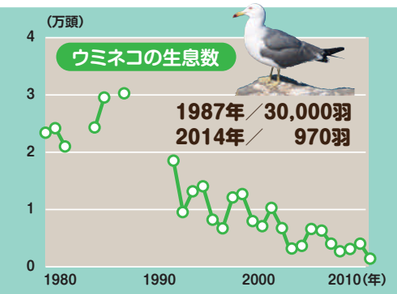
なぜノラネコ対策をはじめたの？

島では近年ノラネコが増加しており、平成26年ごろには200～300匹のノラネコがいたと推定されます。
ノラネコが増えたことで、以下のような問題がおこっていました。

海鳥への影響

一部のノラネコが海鳥繁殖地で、海鳥のヒナや卵を捕食しています。また海鳥を驚かせ、繁殖が失敗することもあります。住宅地と海鳥繁殖地を行き来するノラネコもおり、ウトウの帰巣が始まる夕暮れ時に赤岩に向かう道路で見かけることもあります。
ノラネコの影響を受けやすいのは、ウトウやウミネコなどで、観音岬のウミネコの繁殖地が消滅した要因の一つは、住宅地から近いため、ノラネコが行き来しやすかったことが考えられます。

※海鳥が減少した原因はノラネコ以外にもハシブトガラスなどの増加、餌資源の減少など様々考えられます。



ウトウを捕食するノラネコ
（国立極地研究所　伊藤元裕氏提供）

住民生活への影響

畑を荒らすノラネコ

道路を横断するノラネコ

ノラネコの多くは住宅地に生息しているため、住民生活にも大きな影響があります。家や畑、庭に侵入して荒らしたり、水揚げした魚を横取りしたりするほか、交通事故などをひきおこしています。
平成22年に役場が実施したアンケート調査では約65%の住民が、ノラネコにより何らかの被害を受けたと回答しています。

ノラネコ自身への影響

冬のノラネコ

凍傷で耳が欠けているノラネコ

冬の寒さの厳しい天売島は、ノラネコにとって暮らしやすい環境ではありません。
通常、家で飼われている猫は10～20年生きますが、野外で暮らすノラネコの寿命は短く、一般的に5年ほどと言われています。厳しい寒さで凍傷になり、耳が欠けたり、けがや病気のノラネコも多く、交通事故で死んでしまうネコもいます。

どんな取り組み？

ノラネコが増えることは、海鳥や人間、そしてネコにとってもよいことではありません。そのため役場、北海道、環境省、北海道獣医師会と猫の保護団体などが協力して「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会を作り、ノラネコ対策を進めています。

❶飼い猫の登録制度の実施

飼い猫の適正飼育をすすめるため、平成24年に「天売島ネコ飼養条例」がつくられました。飼い猫の登録や室内飼育の奨励と、ノラネコへのみだりなエサやりの禁止などが定められています。現在この条例の基づき42匹の飼い猫が登録されています。

❷「天売猫方式」によるノラネコの対策

ノラネコを捕獲し、新しい飼い主に譲渡する取り組みを行っています。

捕獲する

島内に箱わなを設置し、ノラネコの捕獲を行います。毎日見回りしてノラネコが入っていないか確認します。

ノラネコの捕獲作業

島外に出す

ノラネコの多くは札幌市内の動物病院に運び込まれ、一度に10匹のノラネコを送り出すこともあります。

捕獲されたノラネコ

手術などを行う

動物病院でマイクロチップの装着、不妊手術、ワクチン接種などを行います。

動物病院での医療行為

人に慣らす

預かりボランティアによる馴化作業

人に慣れたノラネコ

海鳥センターでの馴化作業

毎日のふれあいが馴化につながる

ノラネコは人に慣れていないため、譲渡には人に慣らす馴化（じゅんか）作業が必要です。エサやりなどの通常の世話の他に、積極的に猫とコミュニケーションをとることで徐々に人に慣らしていきます。
馴化は海鳥センターや動物愛護団体、自宅などで天売猫を預かる「預かりボランティア」、酪農学園大学や旭山動物園などの手によって行なわれています。大半の猫は半年程度で人に慣れるようになります。

譲渡する

譲渡会の様子

譲渡会などを通じて、人に慣れた天売猫の飼い主を探します。譲渡会は、札幌のほか、羽幌や留萌でも行われています。

取り組みの成果は？

ウミネコの増加や交通事故の減少などノラネコによる海鳥や住民生活への影響は減少しています。
また、譲渡された天売猫は、飼い主さんの元で幸せに暮らしています。

ウミネコの繁殖地

（平成28年8月現在）

捕獲した数	134匹
島から出した数	106匹
譲渡した数	82匹

取り組みを始めた翌年の平成27年には、観音岬で再びウミネコの繁殖が確認された他、道路へのノラネコの飛び出しが減るなど、取り組みの成果が少しずつ表れています。

飼い主から届いた天売猫の近況報告

フェリー往復券として利用できる天売猫ふるさと旅行券

天売猫をきっかけに島の知名度もアップ！

天売島に関心を持つ人も増えています。天売島に行ってみたいと考える飼い主さんも多く、来訪を後押しするため「天売猫ふるさと旅行券」をプレゼントしています。

島の関係団体との意見交換もスタート！

平成27年秋のドブネズミの被害拡大を受けて、ノラネコの対策は一時中断しています。しかし、現状のままでノラネコ問題を放置すると取り組み前の状態に戻ってしまう可能性もあります。そこで、島内の関係団体と「連絡会」をつくり、今後のノラネコ対策の方針や効果的なドブネズミ対策などについて、定期的に話し合いを行っています。今後、島民の皆さんと話し合う機会も設ける予定です。ご協力よろしくお願いいたします。

連絡会の構成団体

- 各町内会長
- 北るもい漁協　天売支所
- 羽幌町観光協会　天売支部
- 天売の自然と親しむ会
- （一社）天売島おらが島活性化会議
- 各学校
- 地域おこし協力隊
- 役場天売支所
- 「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

離島でのノネコによる野生動物への影響

天売島以外の離島でもノネコ（ノラネコ）が増えたことで、そこに生息する生きものに影響を与えています。
特に沖縄や小笠原諸島などの暖かい島での事例が多いようです。

ノネコの影響を受けている絶滅の危機にある生き物たち

対馬（長崎県）／ツシマヤマネコ

やんばる地方／ヤンバルクイナ

奄美大島（鹿児島県）／アマミノクロウサギ（右はノネコによる捕食の様子）

離島では天敵となるほ乳類が少ないため、ノネコ（ノラネコ）が増えるとそこにいた生きものたちに大きな影響を及ぼします。さらに天売島では、ノラネコが活発に活動する夕方から夜にかけてヒナの巣立ちが行われるため、海鳥は大きな影響を受けることになります。

無責任な猫の餌やりに一言

～天売猫の取組に協力している愛護団体『ニャン友ねっとわーく北海道』に届いた一般の方からの手紙より抜粋～

いつも保護活動ありがとうございます。野良猫の餌やりの人たちに悩まされている者です。自分の経験を踏まえ、餌をやってはいけないと説得しても、餌やりをやめた人は誰もいません。
あるケースでは、餌やりのおかげであっという間に子猫が生まれ、成猫と合わせて10匹以上に増えました。住み着いていた場所は餌やりの人が持ち込んだ発泡スチロールや毛布に糞尿や腐った餌などで虫がわき、衛生状態が悪く、数匹が汚い物に挟まれるように息絶えた姿を今でもはっきりと覚えています。その中から成猫2匹を保護し、うち1匹は現在自宅で飼っています。餌をやっている人が、餌をやることは猫を救っているのではなく、不幸な猫を増やすことに加担していると気づいてほしいものです。そして、猫が嫌いな人も猫の存在を邪魔と思う前に、人間の身勝手さによってどんどん増えているのであって、それは決して猫のせいではないことを考えてもらいたいです。

［インタビュー］
北るもい漁業協同組合
理事 奈良 清志氏

以前は港周辺に20匹以上のノラネコがいて魚を取られたりすることもありましたが、取り組みが行われたことで、最近はほとんどノラネコを見ることがなくなりました。昨秋にドブネズミによって魚をかじられたり、船に入ってコードをかじるなどの被害が拡大したこともあり、ドブネズミによる被害を減らすためにはネコがいたほうが良いとも思っています。
ただし、ネコの繁殖力はすごく、放置すればまた元通りに戻ってしまうという点も、話し合いの中で知ることもできたので、ネコは飼い猫として登録をして管理することが必要だと感じています。

天売島のネコ問題 http://www.teuri-neko.net　facebook https://www.facebook.com/teuri.neko

【編集後記】
今回は主に猫の繁殖力などについて紹介しました。私は今までは犬派だったのですが、天売猫を自宅で少しの間飼ったことで今ではすっかり猫派です（笑）。先日、ネズミの専門家が島を訪れ、ドブネズミ対策について訪問指導や説明会をしていただきました。次号ではそのドブネズミ対策について特集予定です。
（環境省 羽幌自然保護官事務所　自然保護官　竹中康進）

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
構成団体：
羽幌町役場 町民課
北海道 環境生活部環境局生物多様性保全課
環境省 羽幌自然保護官事務所
公益社団法人 北海道獣医師会
北海DOぶつnet
協力／環境省北海道環境パートナーシップオフィス

天売猫だより

第2号
発　行／「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
発行日／平成28年9月21日

今号は、猫の繁殖力について特集します！

島では対策の効果もあり、ノラネコは一時的に減りました。
しかし、現在も妊娠中の猫や子猫が確認されており、継続的にノラネコ対策を行わなければ、数年後にはまた同じ数に戻ってしまうことが懸念されています。そこで今号では、猫の繁殖力がもたらす影響などについて特集します。

特徴は…

- 生まれて半年で妊娠が可能になる
- 年に1～2回程度発情し交尾する
- 親子兄弟関係なく交尾をする
- 交尾をしたらほぼ100%妊娠する
- 妊娠期間は2ヶ月と短い
- 1回の出産で4～6匹を産む

びっくり！猫の繁殖力

ノラネコが増えていく原因のひとつは、驚くべき繁殖力です。メス猫は生まれて半年程度で妊娠が可能になり、また妊娠期間も2ヶ月と短く、1回の出産で4～6匹が産まれるため、ノラネコを野放しにしておくだけでもあっという間に増えてしまいます。
「かわいそうだから」「自然にしたほうがよい」と不妊去勢しない猫を外で放し飼いにすることは、不幸な猫をどんどん増やしてしまう結果につながります。

生後半年のメス猫が発情すると…

2ヶ月後
4～6匹生まれます

1年後
子どもたちも次々出産すると20匹以上に

2年後
80匹以上

3年後

猫を不妊去勢しないで放っておくと、数百～1,000匹以上に！

こうならないために、継続したノラネコ対策が必要です！

ネコが増えすぎたらどうなるの？

不妊去勢を行わずネコが無秩序に増えたことで、様々な問題が起こっています。道内では毎年1,000匹を越えるノラネコが殺処分されているほか、札幌などでは2匹の飼い猫が1、2年で数十匹に増える「多頭飼育崩壊」がおこっています。

たくさんのノラネコが毎年、殺処分されています

飼い主の飼育放棄などが原因で保健所に持ち込まれた猫たち

増えすぎたネコは保健所などに持ち込まれます。保健所も新たな飼い主を探す取組を行っていますが、毎年たくさんの猫が殺処分されており、全国で**約8万匹**、北海道でも**2,000匹**を越える猫が1年間で殺処分されています。（平成26年度）

身近に起こる［多頭飼育崩壊（たとうしいくほうかい）］

「多頭飼育崩壊」という言葉をテレビなどで耳にしたことがありませんか？動物が好きだったり、一人暮らしで寂しいからという理由で猫を不妊去勢せずに複数飼い始め、1～2年後には数十匹に増え、毎日の餌代も厳しくなり、動物愛護団体や保健所に相談に来る事例が後を絶ちません。天売猫の取組に協力している愛護団体「NPO法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道」が関わった多頭飼育崩壊の事例を紹介します。

散乱したゴミの中にたたずむ27匹の猫［札幌市］

小学生の娘を抱えるシングルマザーからのSOSで保護。多頭飼育現場＝ゴミ屋敷の場合が多く、こちらの自宅も床一面やトイレにまでゴミが散乱している状態でした。27匹の猫全てを引き出し、里親を募集しています。

ゴミの中で佇む猫

部屋の中には虫がわいている箇所も

一人暮らしのお年寄りが世話をできなくなった猫が50匹に［札幌市］

一人暮らしのお年寄りの家族や周辺地区からの依頼案件。奥さまが亡くなったあと、世話ができない状態になり、猫が増えていきました。家一棟を猫用にし餌だけは与え、本人は隣の家で寝泊まりをしていましたが、介護施設へ行くことをきっかけに当団体が保護に入りました。家は階段まで汚物が散乱し、外にまで悪臭が漂い異様な空気を放っていました。約50匹の猫は1匹ずつ去勢や虫下し等のケアを行い、里親さんの元や団体保護部屋で暮らしています。

家の外にまで猫が放し飼いの状態に

汚物まみれで栄養状態が悪い猫も

室内は足の踏み場もなく、異臭が漂う

天売島で同じことが起きないために！

20年前の不妊去勢手術の様子

20年前の教訓を活かそう！

島では約20年前にノラネコの不妊去勢を行いました。北海道獣医師会の獣医さんが島に来て手術を行い、不妊去勢をしたノラネコは野外に戻しました。5年間で212匹のノラネコを不妊去勢しましたが、同じ猫ばかりが捕獲されたり、未手術のネコとの判別ができないなど、全てのノラネコを捕獲できず、結局もとの状態に戻ってしまいました。ノラネコ対策を行うには継続性が重要なのです。

天売島ネコ飼養条例

［平成24年3月12日（条例第12号）］

人・海鳥・ネコみんなが住みやすい島にするために、平成24年に「天売島ネコ飼養条例」ができました。ネコを飼う場合は、登録してマイクロチップを入れること、できる限り屋内で飼い、やむを得ず屋外で飼う場合には不妊去勢すること、などが定められています。
このような条例ができたのは北海道では天売島が初めて。飼い猫の健康と安全を守り、生活環境の保全と海鳥保護のため、飼い猫がノラネコにならないよう、飼い猫からノラネコが増えないようにと作られたものです。
この条例に基づき、現在天売島では35匹の飼い猫が登録されています。
現在、猫を飼われている方で登録や不妊去勢を行っていない方、猫を飼う予定のある方は、天売支所までご連絡下さい。

※登録には手数料（1000円）が必要ですが、マイクロチップの挿入や不妊去勢手術については、現在北海道獣医師会の協力もあり、無料で行うことができます（役場職員が動物病院まで猫を連れて行きます）。

条例の主な内容

- 飼主は愛情を持ってネコを飼うこと
- ネコを飼う場合は登録をすること
- 飼いネコにはマイクロチップを入れること
- ネコの健康と安全のため、できるだけ屋内で飼うこと
- やむを得ず屋外で飼う場合は不妊去勢をすること
- ノラネコにみだりな餌やりをしないこと

飼いネコにマイクロチップを入れる様子

専用の器具を使えば、マイクロチップの番号がわかります

現在、島でのノラネコ対策は北海道獣医師会や動物愛護団体、ボランティアなど多くの人達の協力によって進んでいますが、もし数年後、ノラネコの数が元の状態に戻ってしまった場合、再びこれらの人達の協力が得られるかはわかりません。場合によってはノラネコの殺処分をせざるを得ないことも考えられます。
猫は「野生動物」ではなく「愛玩動物」であり、人がキチンと管理する必要があります。かわいそうな猫達を増やさないためにも、飼い猫はキチンと飼うこと、ノラネコは飼い猫として飼ってあげることが大切です。

人と動物が幸せに暮らす社会実現プロジェクト

所有者不明の猫対策（地域猫活動の推進）

岐阜県健康福祉部生活衛生課

1

平成27～28年度に実施したモデル事業全体の概要

〇講習会の開催

1. 地域住民向け講習会（県内2カ所で開催）
2. ボランティア向け講習会（異なる内容で2回実施）
3. 市町村担当者向け講習会

〇地域猫活動啓発リーフレットの作成

〇岐阜県動物愛護センター地域猫活動支援事業の実施

・猫保護器の購入及び貸出
・術後管理のための器具購入
・地域猫活動地域でのアンケート調査

2

内容・実施体制

講習会の開催

平成27年度

1. 地域住民向け講習会（県内2カ所で開催）

対　象	野良猫に困っている方、野良猫の苦情に困っている自治会の方	
日にち	平成27年12月12日（土）	平成27年12月13日（日）
講　師	高木　優治　氏（新宿区人と猫の調和のとれたまちづくり連絡協議会　顧問）	

2. ボランティア向け講習会（異なる内容で2回実施）

対　象	地域猫活動を行っている（行いたい）ボランティアの方、動物ボランティアの方	
日にち	平成27年11月29日（日）	平成27年12月19日（土）
講　師	黒澤　泰　氏 （横浜市神奈川区福祉保健センター）	庄司　直子　氏 （すみだ地域ねこの会代表　等）

平成28年度

3. 市町村担当者向け講習会

対　象	市町村動物愛護・狂犬病予防等担当課職員
日にち	平成28年12月14日（水）
講　師	高木　優治　氏（新宿区人と猫の調和のとれたまちづくり連絡協議会　顧問）

3

内容・実施体制

リーフレット作成

・地域猫活動を知ってもらうことを主眼に作成（A4版　二つ折り）
・岐阜県動物愛護センターで不妊去勢手術を受けられることを記載
・50,000部作成し、講習会の受講者、県内保健所等に配布

4

内容・実施体制

岐阜県動物愛護センター地域猫活動支援事業

目的	地域住民の理解と同意を得たうえで、飼い主のいない猫の繁殖制限、給餌、糞尿の処理等を行う活動を通じ、飼い主のいない猫に起因する地域のトラブルの軽減及び動物愛護行政の推進に資する。
方法	地域猫活動を行いたい自治会等は地域住民の理解と同意を得たうえで活動内容についてセンターと事前に協議し、活動地域を所管する保健所及び市町村と連携を密にとりながら進める。
届出	地域猫活動を行う自治会等が管理する猫に対して、センターの手術支援（無料の不妊去勢手術）を受ける場合は地域猫活動計画書等をセンターへ届け出る。
貸出	地域猫活動計画書をセンターに提出し、センターに認められた自治会等に限り猫保護器をセンターから貸し出す。（平成28年度から貸出）
手術	自治会等はセンターが指定した日時に手術を受けさせる猫をセンターに搬入し、手術終了後には猫を引き取る。
管理	自治会等は手術を受けた猫を元の場所に戻し、以降当該猫の管理を行う。
調査	不妊去勢手術実施1年後をめどに地域猫活動実施地域の住民に対し、アンケート調査を実施する。

5

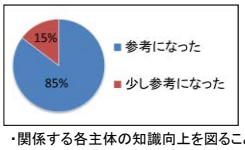
成果及び評価

平成27年度実施講習会

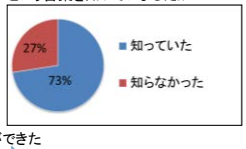
講習会	参加者数			
	一般県民	市町村職員	県職員	合計
地域住民向け	57	10	12	79
ボランティア向け	41	5	17	63
合計	98	15	29	142

講習会後のアンケート調査結果

Q. 講習会の内容について



Q. この講習会を受ける前から「地域猫」という言葉を知っていましたか



・関係する各主体の知識向上を図ることができた
・27%は地域猫活動を知らない人が受講 ➡ 興味を持つ地域を増やすことができた

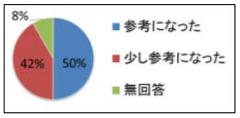
6

成果及び評価
平成28年度実施講習会

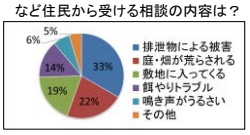
講習会	参加者数			
	一般県民	市町村職員	県職員	合計
市町村担当者向け	ー	24	8	32

講習会後のアンケート調査結果

Q. 講習会の内容について



Q. 飼い主がいない猫によって困っているなど住民から受ける相談の内容は？



・市町村担当者の今後の業務に役立つ内容であった
・住民から受ける相談の内容は地域猫活動により軽減される可能性がある
➡解決方法の1つとして地域猫活動を周知できた

成果及び評価
地域猫活動支援事業

No.	相談者	相談日	不妊去勢手術数
1	保健所	H27.02.25	10
2	ボランティア	H27.03.30	31
3	住民	H27.08.25	5
4	ボランティア	H27.09.06	14
5	保健所	H27.10.13	4
「地域住民向け講習会」「ボランティア向け講習会」開催			
6	**住民**	**H28.01.05**	**9**
7	ボランティア	H28.4.8	22
8	住民	H28.5.9	9
9	住民	H28.06上旬	31
10	住民	H28.09.28	15
「市町村担当者向け講習会」開催			
11	**市役所職員**	**H29.01.25**	**9**
12	住民	H29.02.01	1

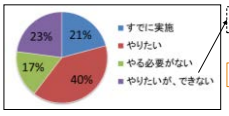
No.6の事例
講習会実施後、地域住民からの相談から不妊去勢手術を実施した

No.11の事例
講習会実施後、ボランティアからの相談を受けた市町村職員を発端に不妊去勢手術を実施した

講習会による周知の効果

平成27年度実施内容
成果から明らかになった課題

平成27年度実施講習会アンケート
Q. 地域猫活動をやってみたいですか



やりたいが、できない 理由
（イコール）

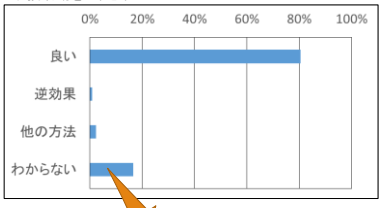
課題
○ 地域の同意が得られるかがわからない
○ 猫のトラブルを抱える地域はあるが、活動に取り組みたいという申し出はない
○ 捕獲器の貸し出しがない

地域猫活動支援事業から

課題
○ 術後管理について
・不妊去勢手術を実施した猫は車庫内のケージで飼養しているが、冬季は気温が低くなるため、改善が必要

平成28年度実施内容
成果から明らかになった課題

不妊去勢手術実施1年後アンケート調査
Q. 地域猫活動をどう思うか



理由：地域猫活動とは具体的に何をするかわからない

課題
○地域内での情報共有が十分でない

平成27年度実施事業の課題から
課題解決の方向性

1. 支援事業に必要な機材の購入
猫保護器の購入　：支援事業に基づく場合に限り貸出
ホットマットの購入：手術後の猫の適切な温度・術後管理が可能に

2. 市町村担当者向け講習会の開催
市町村担当者 理解up ➡ ・市町村担当者が住民同士の話し合いに参加 ・住民からの相談を市町村窓口で受ける ―期待

講習会後に市町村窓口に寄せられた相談から地域猫活動実施
➡今後も定期的に講習会等を実施し、県と市町村との協力体制の構築が必要

平成28年度実施事業の課題から
課題解決の方向性

1. 活動実施地域内での情報共有
地域猫活動に関する地域内での情報共有や回覧等に使用しやすい広報資料のひな形等を作成し、地域へ提供する。

2. 支援事業後のアンケート調査の継続実施
アンケート調査を実施することでデータの蓄積を行い、改善ニーズの高い点を検討するため、今後もアンケート調査を継続実施する。

所有者不明の猫対策（ＴＮＲ活動）

静岡県健康福祉部
生活衛生局衛生課
動物愛護班　鵜沼

1

モデル事業全体の概要

静岡県　飼い主不明の猫対策としてＴＮＲを推進

- 市町に対する不妊去勢手術助成金創設の助言（29／35市町）
  （参考）平成28年度市町の助成件数：26市町4,598件
- （一社）静岡県動物保護協会への助成金交付
  （参考）平成28年度不妊去勢等助成件数：11地区224件

課題　予算が限られておりＴＮＲをやり切ることができない

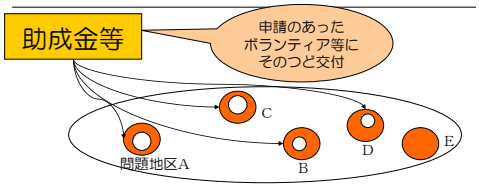
- 動物愛護ボランティア等の意見

フィードバック！

検討　限られた予算の中における効果的なＴＮＲの方法

2

課題の内容



- １地域における不妊去勢頭数が限られる
- 猫の頭数が効果的に削減せず、問題が長期化する

対策　今年度、モデル３市町において、
県、市町、ボランティア、地域住民と
ＴＮＲの効果的な推進を検討

3

内容・実施体制

検討事項の設定
①費用の捻出
②人手の確保
③優先順位の設定　等

検討の実施

- 動物愛護ボランティア意見交換会（10～11月）
  県内５箇所（熱海市、沼津市、富士市、藤枝市、磐田市）
  参加：県衛生課、保健所、市町、ボランティア
- モデル３市における検討会（11～12月）
  ３市（裾野市、御殿場市、袋井市）
  参加：保健所、市、ボランティア、地域住民

4

成果及び評価　①費用の捻出

意見

- 募金を募る（地域住民や餌やり等を対象とする）
- ボランティア等が運用しやすい助成金制度とする
- 交付先の選定（ボランティアのＴＮＲ実績を加味する）
- 安価な動物病院に手術が集中すると、当該病院の負担が大きくなるため好ましくない。
- 手術実施頭数の考え方（集団で70％の実施で良い）

評価

- 市町等の助成金以外から費用を捻出する方法は困難であり、助成金の増額や制度の見直しに係る意見が多数であった
- 行政の担当職員は獣医師等であるため、ＴＮＲに係る専門的・科学的な知見について情報提供してほしい旨の意見があった

5

成果及び評価　②人手の確保

意見

- 餌やりをしていた人に猫の保護を協力してもらう（餌やりを実施してもらうことによる人での節約）
- 行政の広報等によるボランティア確保の支援
- 安価な動物病院への搬送に時間と労力を要する
- 人手は量も大切だが、質も大切である

評価

- 地域住民の協力を得ることは、人手不足の回避に繋がるが、容易ではなく、行政の協力は基本のほか、地域の特性やボランティアの力量も関係すると考えられる
- 協力ボランティアを組織し、必要な時に支援を要請することが解決策のひとつと考えられるが、ひとつのボランティアに集中することでの破綻が懸念される
- ボランティアの母数を増やす必要があるが、助成金の取り合いにも繋がるため、質の高いボランティアを育成する必要がある

6

成果及び評価　③優先順位の設定

意見

- 優先順位を判断する仕切り役が必要（市町、獣医師会などによる協議会等）
- 優先する地域の考え方は立場により異なる（子猫が多い地域、苦情が多い地域、地域住民の合意が得られた地域）

評価

- 優先順位の設定には、各市町を主とした仕切り役が必要であるが、市町担当者は、知識・経験が乏しく、即効性のある方法とは考えられない
- また、優先順位の設定により、ボランティアの不公平感を生む可能性があり、慎重に判断する必要がある

7

成果及び評価　④自由意見

意見

- ボランティア同士のネットワークの確立
- 行政による広報（飼い猫の室内飼い）、ＴＮＲの成功事例の情報提供を望む

評価

- ボランティアは行政等との連携だけでなく、ボランティア同士の連携（情報交換含む）を望んでいる
- 飼い主の判明しない猫だけでなく飼い猫に対する普及啓発も必要である

8

成果から明らかになった課題

明らかになった課題

- ＴＮＲ及び地域猫活動は、問題地域の状況のほか、ボランティアや市町の姿勢に差があり、統一的な方法を定めることや、安易に成功事例を当てはめることによる解決は困難であると考えられた。
- その中での、行政への要望として多く寄せられた意見については以下のとおり

行政に対する要望

- ＴＮＲや地域猫活動の広報強化（猫の飼い方含む）
- 市町の助成金制度の運用簡素化
- 他地域の事例や、科学的な知見の情報提供

9

課題解決の方向性

- 県として、ＴＮＲや地域猫活動についての広報を引き続き実施する（新聞、ラジオ、県広報等）
- 市町の助成金制度の運用や他地域の成功事例については、会議等の場で周知する
- ボランティアに対する科学的知見の情報提供を図る

平成29年度実施事項

- モデル３市のＴＮＲ事例について市町及びボランティアに情報提供
- ＴＮＲ等の科学的知見の調査

10

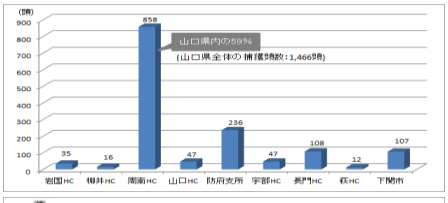
所有者不明の犬対策

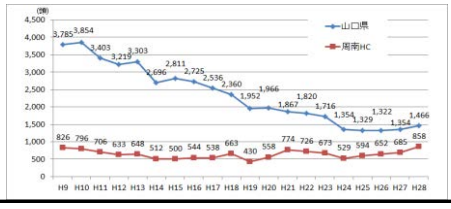
山口県環境生活部生活衛生課

背景

＜原因＞
・野犬の住処となる藪や茂み
・むやみな餌やりにより繁殖、定着

背景





事業の概要

【所有者不明犬対策検討会】

- 行政、住民や学識経験者等専門家からなる検討会
- 所有者不明犬対策の具体的取組を検討

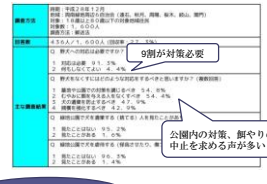
→ **住民の安全確保を最優先とし、地域住民と一体となって野犬削減対策に取り組むこと**

所有者不明犬増加防止対策	保護犬適正譲渡
・削減に向けた機運の醸成 ・棲みにくい公園環境の整備 ・保護体制の強化	・保護犬の飼育管理等の適正化 ・譲渡した犬の適正飼育

［所有者不明犬の増加防止対策］

■削減に向けた機運の醸成

住民アンケート → 市民向け講演会 啓発キャンペーン



H28．3．26
「感染症」「動物福祉」の観点から野犬対策の必要性を講演
参加：１２０人

正しい情報発信

行政ＨＰ、広報誌、記者配布　等

講演会終了後、市内各地で啓発資材配布
配布：1,200セット

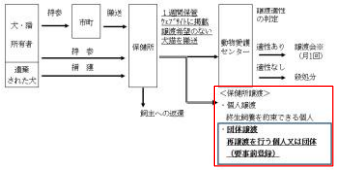
［所有者不明犬の増加防止対策］

■棲みにくい公園環境の整備

■保護活動の強化

［保護した犬の適正な譲渡］

■保護犬猫の団体への譲渡



引取り・保護犬の譲渡数

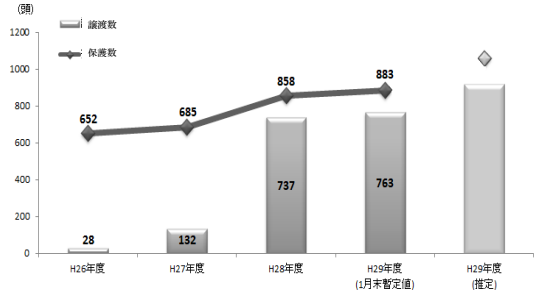
平成２８年度
１３２

平成２９年度
７３７

■譲渡した犬の適正飼育
- マイクロチップ装着による迷子犬の防止
- 譲渡先へのアンケート調査
  回答率：３３．６％（２２６／６７２人）

成果

■保護数・譲渡数の増加



成果から明らかになった課題

■保護した犬の譲渡
- 保護した犬の命を救うことを優先した譲渡を進めたことにより、犬の殺処分数は大幅に減少した。
- 一方、人に懐きにくいなど飼育管理が困難な性格の犬も多く、里親が譲渡後に逸走させたなどの情報が寄せられている

■むやみな餌やり
- 野犬削減に向けた機運の醸成を図った結果、人目につく場所、時間に行うむやみな餌やり行為は少なくなった
- 依然として夜間や早朝にむやみな餌やりが行われている

課題解決の方向性

- 野山で生まれた犬は、管理困難な性格の犬も多く、譲渡後に適正に飼育できる者は多くない
- 譲渡の際には、譲渡希望者の飼育環境やスキル等を見極めた上で譲渡し、行政によるアフターフォローが必要
- 譲渡が困難な犬の保護、収容がなくなるよう、引き続き保護体制を強化していくとともに、野犬の増加の一因となっている“むやみな餌やり”や“遺棄”をやめるよう呼びかけていく
- 引き続き、住民と一体となって、生活環境の改善に取り組んでいく

6 .地域猫対策の推進

福岡市
保健福祉局生活衛生部生活衛生課

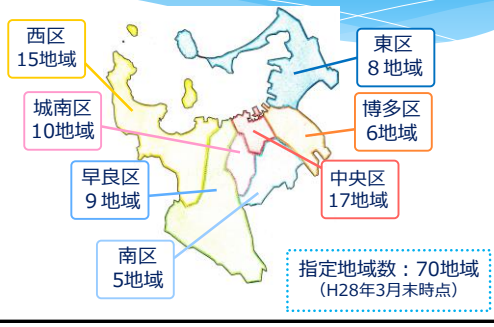
地域猫活動への支援（概要）

■平成19年
「福岡市ねことの共生ガイドライン」策定
地域猫活動の考え方を導入

① 周辺住民の理解を得る
② 不妊去勢手術の実施
③ エサの適切な管理
④ トイレの適切な管理

■平成21年
地域猫活動への支援を開始
ガイドラインに沿った活動を行う地域を指定し，支援を実施
・地域説明会等の実施
・不妊去勢手術の無償実施（原則１年間）
・活動に関する情報提供や助言　など

地域猫活動への支援（実績）



地域猫活動の検証
内容・実施体制

支援開始から５年が経過したことを受け，より効果的な地域猫活動の支援を行うため，以下の検証を実施した

◆地域猫活動に関するアンケート調査
・ 対象：福岡市が支援を実施した地域のうち，手術支援期間が終了した27地域
・ 期間：平成27年７月～12月
・ 方法：活動者への聞き取り調査

◆苦情の分析
地域猫活動に対する苦情内容の分析

成果 及び 評価（アンケート調査）

項　目	回　答	%
活動	継続中	77.8
地域内の猫の頭数	把握していない	51.9
置き エサ	あり	40.1
トイレの数	減った	44.8
活動者数	減った	70.3
地域への報告	なし・中断	66.7
猫の数	減った	85.2
活動に対する所感	活動して良かった	100

適切な活動ができていない地域が存在

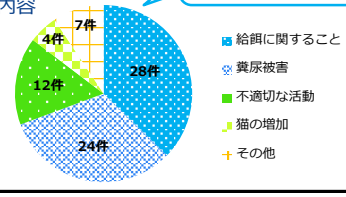
問題意識がない

活動者の満足度は高い

成果 及び 評価（苦情の分析）

◆指定地域に対する苦情
・ 苦情が発生した地域数
22地域／70地域
・ 主な苦情内容

・活動しているとは知らなかった
・猫好きの方が勝手に活動している
・活動ルールがわからない
などの声も



成果から明らかになった課題

① **活動の目的を誤認している**
- 「猫の世話をすること」が目的化
- 「猫に起因する問題」を把握していない

② **活動のルールが守られていない**
- 置きエサ，トイレの管理が不適切
- 不適切な活動による苦情が発生

③ **地域住民の理解不足・無関心**
- 活動のルールが認知されていない
- 個人・グループ活動として認識

→ **活動目的の認識不足**

→ **地域の合意形成不足**

課題解決の方向性（活動目的の認識不足）

～27年度

① 相談者と福岡市の二者で事前協議
② 相談者から，自治会役員への説明を行う

28年度～

① 相談者，自治会役員，福岡市の**三者で事前協議**
② **情報収集による問題点の把握**
- 苦情箇所を三者で調査するなど，近隣住民の意見を調査
- 回覧板等によるアンケート調査

課題解決の方向性（地域の合意形成不足）

～27年度

- 回覧板等により，地域住民の了承を得る

28年度～

① **説明会の開催等**により活動のルールづくりを行い，地域住民の了承を得る
② 地域住民からの苦情が継続し，地域指定が適正でないと判断した場合は，地域指定の取消しを行う

課題解決に向けた支援を開始した結果

◆ **支援状況**

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
新規指定地域数	8	11	9	9	10	13	10	3	2
不妊去勢手術頭数	56	138	130	341	312	436	388	128	71

◆ **苦情地域数**

不適切な活動による苦情が発生している地域数
- H27年度までに指定した70地域中：22地域
- H28年度から指定した５地域中　：　**0地域**

7. 長野市

所有者不明の犬猫対策と教育活動の推進

長野市保健所食品生活衛生課動物愛護センター
関口　徳之

実施したモデル事業の概要

1　所有者不明の猫対策（H28・H29）

- 所有者不明の猫にエサを与えている市民への普及啓発
- 飼い猫に不妊化手術・室内飼育をしない飼い主への普及啓発

2　所有者不明の犬対策（H28・H29）

- 犬の飼い主に向け、適正な管理に係る普及啓発

3　教育活動の推進（H29）

- 小学校3年生以上を対象とした動物愛護する気風の招来と生命尊重に係わる動画を制作（現在制作中）

1－①　所有者不明の猫対策

（1）内容

〇キャットフード販売店に掲示する普及啓発ポスター・POPを作成
〇動画「野良猫を増やさないために」を制作し、当市HPにアップロード

（2）実施体制

センター	報道機関	広報広聴課	モデル事業委託者（㈱オーエムシー）	フード販売店
• 原案作成 • 関係者への協力依頼	• 成果物及び取組の報道	• 当市HPアップロード	• 原案からのリーフレット作成 • 撮影業者の選定	• ポスター・POPの掲示

1－②　所有者不明の猫対策

（3）成果及び評価

〇ポスター・POP　ホームセンター、ペットショップ及び動物病院等に掲示
〇動画「野良猫を増やさないために」を当市HPにアップロード
　→新聞報道の他、動物愛護週間にQRコード表記チラシをJR長野駅で配布

1－③　所有者不明の猫対策

（4）成果から明らかになった課題

周知できていない、また管理方法を理解していても、管理方法を変えない
→広く周知すること、給餌者に直接話すことが必要

（5）課題解決の方向性

周知徹底と個別対応

- キャットフード販売店等でのポスター・POP掲示場所の拡大
- QRコード等を表記した動画ポスターの掲示
- ポスターや市報等で猫の適正な管理を普及啓発することにより、不適正な者を相談・苦情等により明らかにし、個別に助言する。

2－①　所有者不明の犬対策

（1）内容

犬の飼い主に向け、犬の逸走防止に係わる飼育管理を強化することにより、所有者不明の犬がいない状況を維持するとともに、適正な飼育管理を普及啓発するための動画を作成した。

（2）実施体制

センター	広報広聴課	獣医師会	モデル事業委託者（㈱オーエムシー）	ボランティア	報道機関
• シナリオ等の原案作成 • 関係者への協力依頼	• 当市HPアップロード	• 狂犬病予防注射ハガキにQRコード表記	• 原案の編集 • 撮影業者の選定	• しつけ方教室での放映	• 成果物及び取組の報道

7. 長野市

2―② 所有者不明の犬対策

（3）成果及び評価

「犬の飼い主マナーアップ」5分程度の動画→放映しやすい

ボランティアと当市で開催しているしつけ方教室で放映。

当市HPにアップロード→新聞報道の他、動物愛護週間にQRコード表記チラシをJR長野駅で配布し周知

2―③ 所有者不明の犬対策

（4）成果から明らかになった課題

主な視聴者は適正飼養に関心がある飼い主 →適正飼養に関心がない飼い主	認知しても管理方法が変わらない →メリット・デメリットを含め説明が必要

（5）課題解決の方向性

周知徹底と個別対応

- QRコード等を表記した動画ポスターの掲示
- 鑑札へのQRコード等を表記したチラシの封入
- ポスターや市報等で適正な管理を普及啓発することにより、不適正な者を相談・苦情等により明らかにし、個別に助言・指導する。

1・2 所有者不明の犬・猫対策（H29作成中）

3―① 教育活動の推進

（1）内容

ペットによるケーススタディから動物に対する児童自身の考えに気づきを促すとともに、産業動物、実験動物の飼育者からそれぞれの動物に対する配慮について学び、動物を愛護する気持ちと生命尊重について検討する機会を設ける。

①ペットの感情表現（ナレーションと画像）

②ケーススタディ（ドラマ仕立て）

③産業動物及び実験動物の飼育者へのインタビュー

④動物愛護と動物福祉について（ナレーションと画像）

⑤生命尊重について（ナレーションと画像・動画）

3―② 教育活動の推進

（2）実施体制

センター	報道機関	広報広聴課	教育委員会	小学校	実験動物施設	牧場	モデル事業委託者 ㈱オーエムシー	ボランティア
• シナリオ等の原案作成 • 関係者への協力依頼 • 役者の選定	• 完成時の報道	• 当市HPアップロード	• 協力小学校の選定 • セリフ等の監修 • 完成時の小学校への配布	• 児童への出演依頼 • 保護者の承認確保 • 校内の撮影協力	• インタビューへの対応 • 実験動物飼育舎等の撮影協力	• インタビューへの対応 • 産業動物飼育舎等の撮影協力	• 原案の編集 • 撮影業者の選定 • スケジュール調整	• エキストラ等での出演協力 • 出演する犬・猫の確保

3―③ 教育活動の推進

（3）成果及び評価

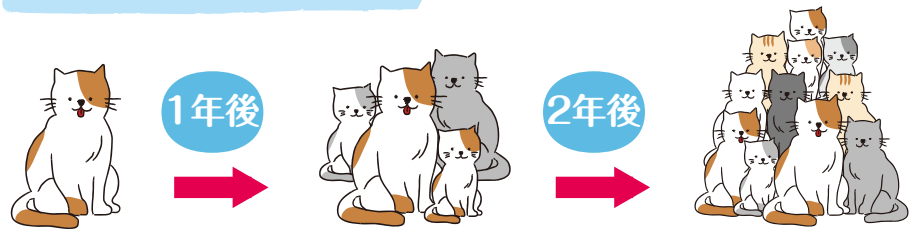
制作した動画はDVDとして市内全小学校に配布するとともに、当市ホームページにアップロードする。また、当市で開催する動物愛護教室で活用する。

野良猫にエサを与えている人へ

その猫 不妊手術・去勢手術しませんか?

野良猫への不妊手術・去勢手術のメリット

エサ代増加の防止



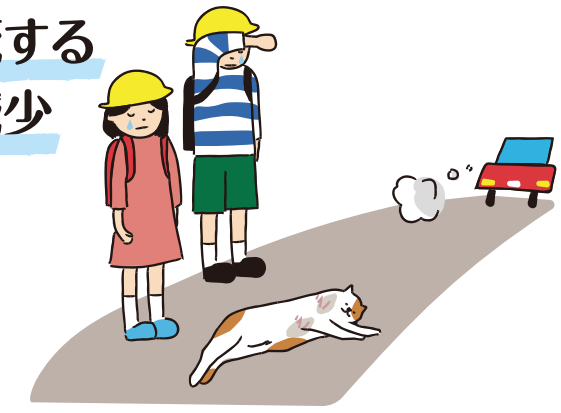
1頭エサ代
月1,000円程度

20頭以上エサ代
月20,000円以上

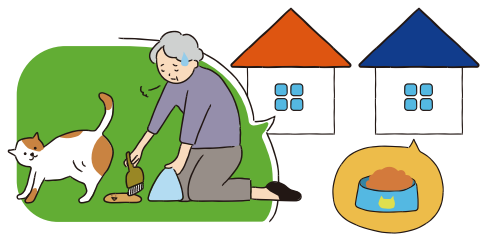
80頭以上エサ代
月80,000円以上

※1袋2.7kg600円のキャットフードを1日150g与えるものとして試算

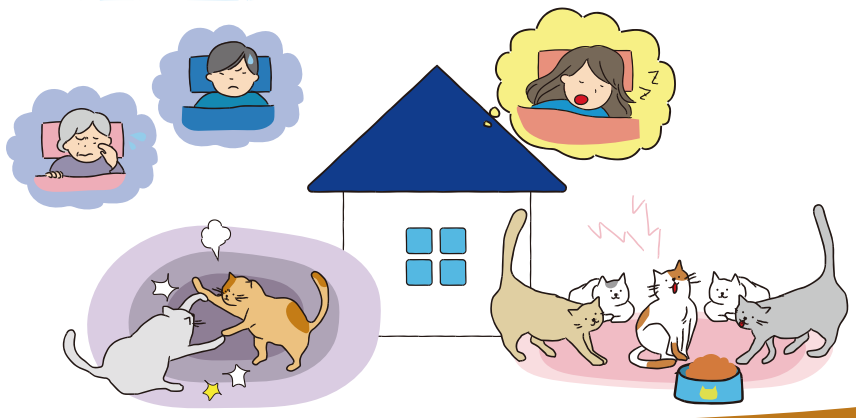
事故死する猫の減少



ふん尿被害の防止



さかり声、ケンカの防止



猫がなれていなくても… 手術できます!

オリで捕獲

手術

手術後

元に戻す

不妊手術・去勢手術をするために**捕獲檻**を貸出している動物愛護団体があります。
ご希望の方はお問い合わせください。

捕獲檻 : **咬まれたり、引っかかれたり**せずに保護できます。

【お問い合わせ】
長野市保健所 食品生活衛生課 動物愛護センター
電話:026(262)1212

環境省「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」